



Microsoft Power Platform のご紹介

tdiの多彩なソリューションサービスで、お客様のDX推進をご支援します。(t-DX)

情報技術開発株式会社

目次

- Microsoft Power Platform製品概要
- tdiのPower Platformサービスメニュー
 - 導入支援
 - 内製化支援
 - 開発、運用・保守、プロジェクト管理
- 推進事例

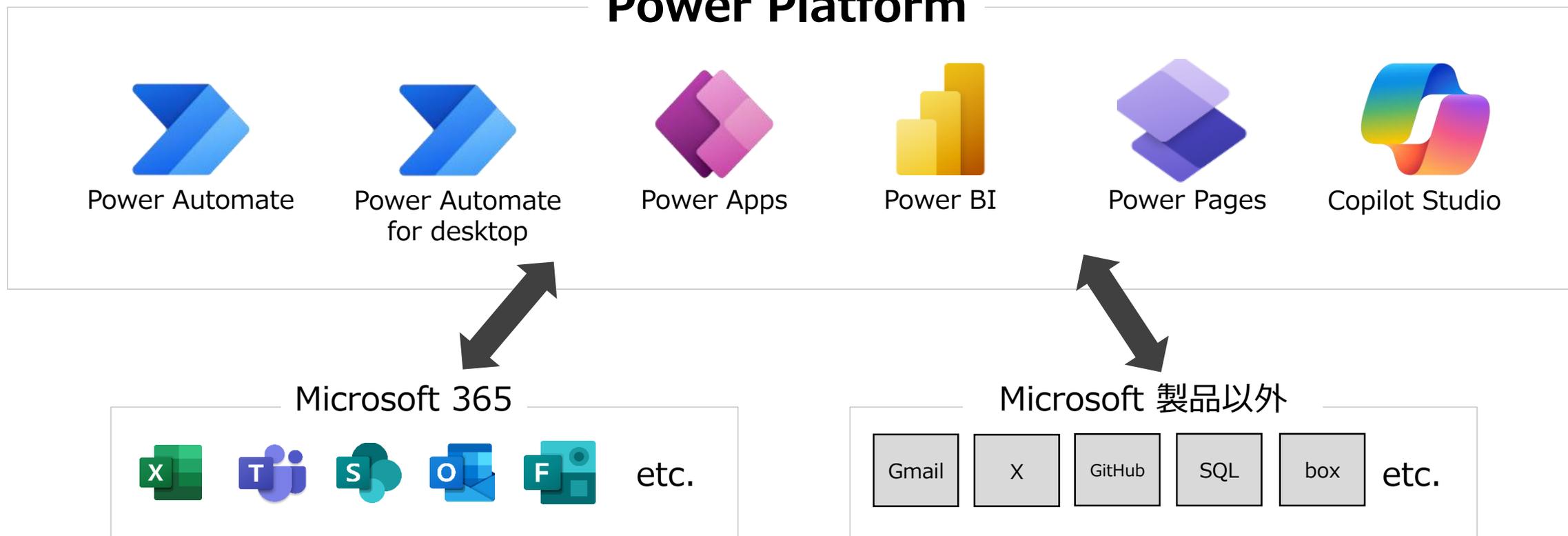
Microsoft Power Platform製品概要

Microsoft Power Platform とは

Microsoft Power Platform (以下、Power Platform)

Microsoft社が提供する、ビジネスニーズに合わせたカスタムアプリをローコードで作成できるクラウドサービスです。Microsoft 365に加え、サードパーティ製品とも連携が可能のため、幅広い業務で自動化やアプリ作成ができます。

Power Platform



※2024年5月時点のサービス群となります。

Power Platform とは

tdiのサービス対象範囲



Power Automate

様々なクラウドサービスを使った操作の自動化フローを作成できる



Power Automate for desktop

PCのデスクトップ上における業務の自動化フローを作成できる



Power Apps

ローコーディングでアプリケーションを作成できる



Power BI

Excelの操作感覚でデータを分析・可視化し、レポートを作成できる



Power Pages

組織外・社外向けのWebサイトを作成できる



Copilot Studio

コーディングを行わずに、直感的な操作でチャットボットを作成できる

※2024年5月時点のサービス群となります。

Power Platform の特長

1

非エンジニアでも
直感的に操作 が可能！

2

Web上で開発するため、
面倒な環境構築は不要！！

※尚、Power Automate for desktopは開発ツールのインストールが必要

3

すでにMicrosoft 365を利用されている場合は、
面倒な契約手続き不要！！

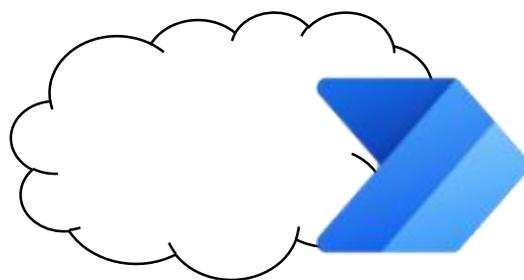
※保有されていない場合でも、ユーザー単位で契約可能

Power Automate と Power Automate for desktopの違い



Power Automate

- ✓ Microsoft 365サービス（Teams、SharePointなど）に加え、SAP、Oracleなど**他のシステムと連携できるAPI（コネクタ）が充実**しており、そのAPIを利用して各サービスにおける操作を自動化
- ✓ Web上でフローを作成・実行



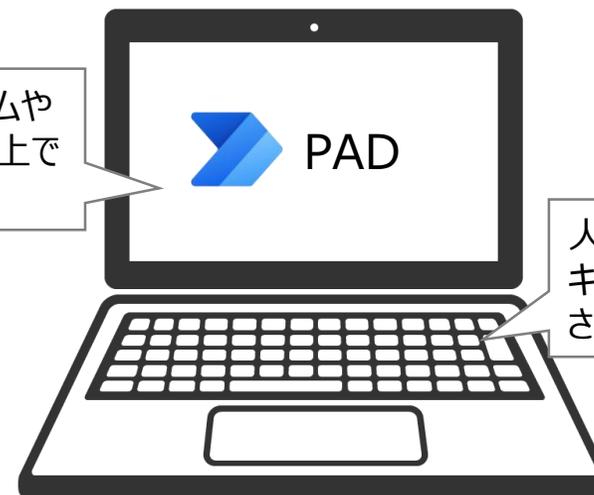
Power Automate



Power Automate for desktop

- ✓ **マウス・キーボード操作を模倣させる**ことで、自社システムやWebサイト、クライアントアプリケーションにおけるPC上の操作を自動化
- ✓ PC上に専用の開発ツールをインストールしてフローを作成・実行

操作対象のシステムやアプリはデスクトップ上で直接開く

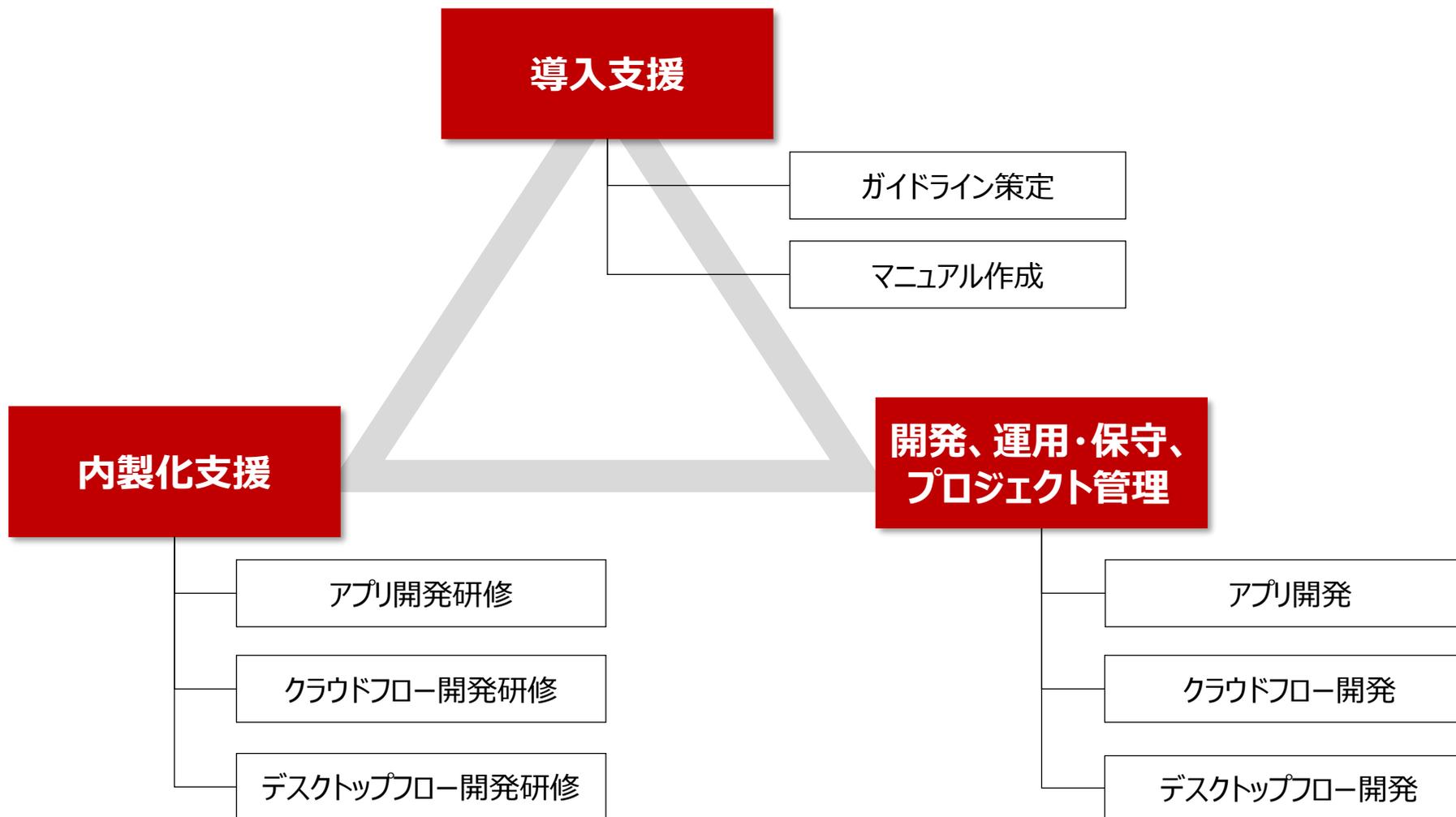


人が行うマウス操作やキーボード操作を模倣させて自動化

tdiのPower Platformサービスメニュー

tdiのPower Platformサービスメニュー

tdiで提供可能なPower Platformのサービスは、以下の3つです。



導入支援（ガイドライン策定/マニュアル作成）

導入支援（ガイドライン策定）

サービスを安全・効率的に利用いただくために、貴社の状況や推進方針に合わせた導入/開発/運用フェーズにおけるルール・仕組み（例:セキュリティ対策、環境容量監視など）をガイドラインとして作成します。

■ Power Platformの活用ケース

IT部門手動で開発を進めるケース

現場主導で開発を進めるケース

貴社の進め方に合わせた
ガイドラインを策定します

■ ガイドライン策定のアプローチ（イメージ）

導入編

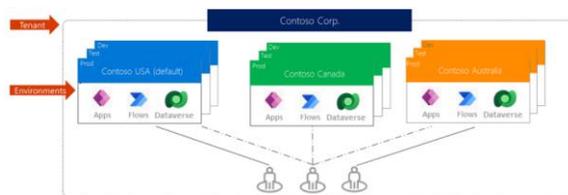
Power Platformの理解整理

サービスの使い分けや制限事項などの理解を整理

Power Platformサービスについて
できることとサービスの使い分け
制限事項 など

環境・ライセンスの定義

Power Platform利用における環境とライセンスを定義



セキュリティ制御やルールの定義

情報漏洩などのセキュリティインシデント防止を目的にセキュリティ制御の仕組みやルールを定義

データ損失防止ポリシー
外部への情報発信
利用アカウントのルール など

ガイドライン化

導入編

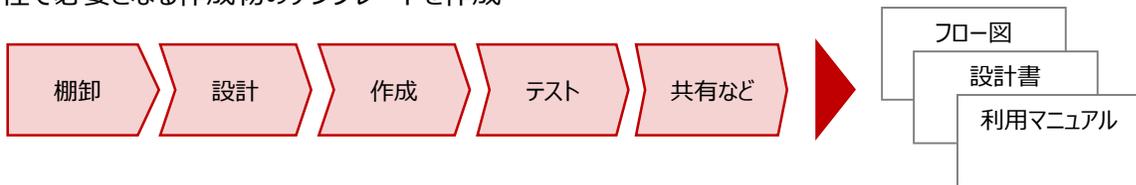
1.〇〇〇〇
2.〇〇〇〇
3.〇〇〇〇

導入支援（ガイドライン策定）

開発編

推奨となるアプリ・フロー作成の流れ、テンプレートの作成

- ・貴社のシステム開発ルールと照らし合わせ、推奨となるアプリ・フロー作成の流れを定義
- ・各工程で必要となる作成物のテンプレートを作成



申請・問い合わせルールの定義

- ・各種申請ルールを定義
 - *有償ライセンスの申請
 - *フロー実行専用端末の申請 など
- ・問い合わせ窓口やルールを定義

ガイドライン化

開発編
1.〇〇〇〇
2.〇〇〇〇
3.〇〇〇〇

運用編

運用項目の検討

運用項目として定義が必要な項目を洗い出す

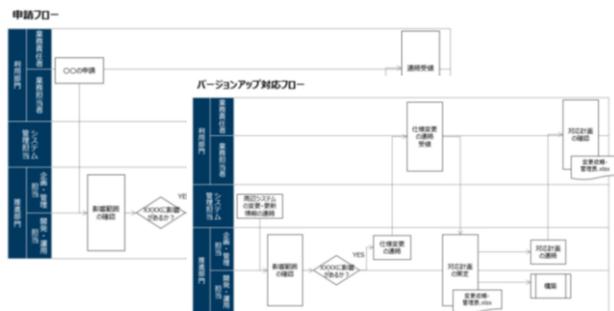
- 体制
- 問い合わせ管理
- 申請管理
- コミュニティ運営
- 定常/非定常運用作業

など

運用フローの整理、手順の作成

運用フローの整理

運用フロー（問い合わせフロー、申請フローなど）の作成



運用手順書兼チェックリストの作成

定常/非定常的に必要となる運用作業について具体的な手順およびチェックリストを作成

運用手順書
兼チェックリスト
その他関連
ドキュメント

ガイドライン化

運用編
1.〇〇〇〇
2.〇〇〇〇
3.〇〇〇〇

導入支援（マニュアル作成）

はじめてサービスを利用する方向けに、**貴社の環境に合わせた貴社独自のマニュアルを作成**します。

■ マニュアルの内容（大区分）

サービスの始め方

- サービスを利用開始する具体的な手順
 - ✓ 起動/サインイン方法
 - ✓ インストール方法（Power Automate for desktop）など

アプリ・フローの作成方法

- 基本的なアプリ・フローの作成手順、各機能の説明
 - ✓ フローの新規作成・編集・保存・共有等の方法
 - ✓ テンプレート利用方法 など

実践的な演習

- 実践的な開発演習（演習内容⇨作成手順⇨解答例）
 - ✓ 演習テーマは貴社と協議の上、貴社の業務や環境に合わせたテーマを選定します

具体的な内容は貴社と協議の上、決定させていただきます。

内製化支援（開発研修）

内製化支援（開発研修）

担当者のレベル、習得度に合わせてPower Platform開発者の人材育成、教育を目的とした開発研修を企画・実施いたします。各サービスの基礎的な使い方～例外処理といった高度な応用編まで、開発者のスキルに合わせて、ハンズオンサービスをご用意しています。

No.	研修メニュー	対応ツール
1	アプリ開発研修	Power Apps
2	クラウドフロー開発研修	Power Automate
3	デスクトップフロー開発研修	Power Automate for desktop

形式は貴社とご相談の上、柔軟にご対応させていただきます。
※ハイブリット形式（対面+Web）も可能

対面形式



- ・講義型
- ・ワークショップ型

Web形式



開発、運用・保守、プロジェクト管理

開発、運用・保守、プロジェクト管理

Power Platformを利用したアプリ・フローの開発、運用・保守、プロジェクト管理をトータルでサポートいたします。
開発実績とノウハウを活かし、安全・安定したアプリ・フローの開発、運用・保守を行います。

No.	サービスメニュー	サービス内容
1	開発	Power Platformを利用したアプリ・フローの開発を行います。 <ul style="list-style-type: none">• アプリ作成 (Power Apps × Power Automate)• クラウドフロー作成 (Power Automate)• デスクトップフロー作成 (Power Automate for desktop)
2	運用・保守	お客様社内で既に稼働中のアプリ・フローの運用・保守を行います。 また、運用後に一番大変な作業となるフローのインシデント対応、改善要望への対応を弊社のナレッジを活用してご支援いたします。
3	プロジェクト管理	プロジェクトの成功に向けた、プロジェクトの計画、実行、監視、制御を行います。 必要に応じて、開発業務の掘り起しの部分も含めてご支援いたします。

推進事例

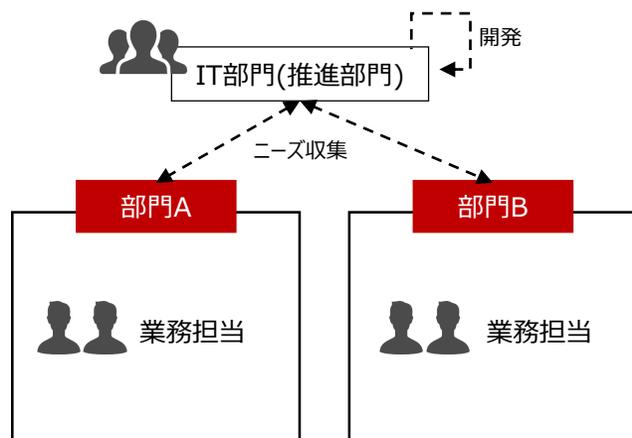
推進事例

Power Platform導入の目的を明確にし、目的に合わせた導入形態や体制を検討することが肝要です。

■ 進め方の例

IT部門手動で開発を進めるケース

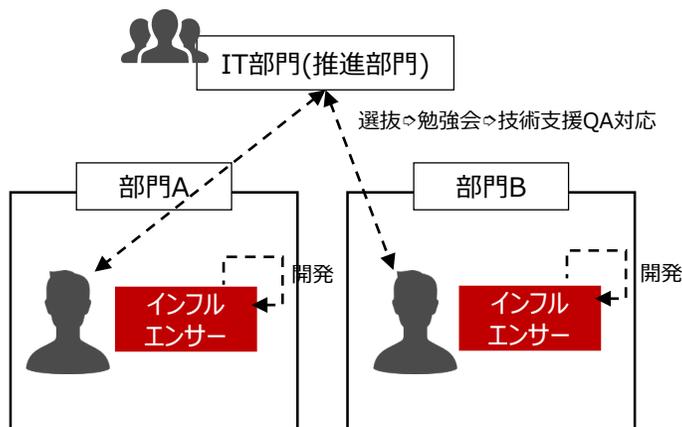
IT部門(推進部門)が主体となり、業務部門からニーズを収集、IT部門にてアプリ・フローを開発



現場主導で開発を進めるケース

インフルエンサー選定型

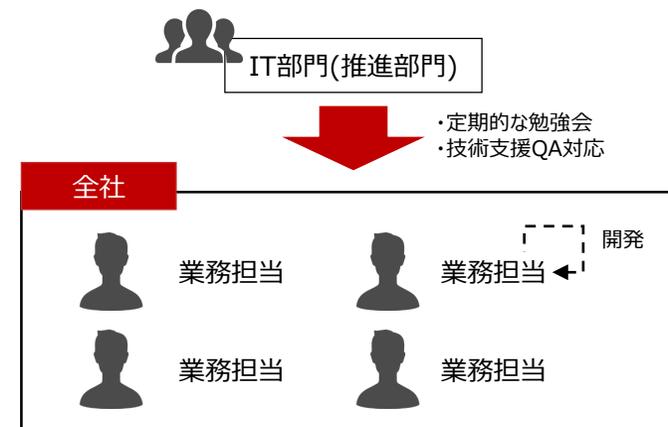
業務部門ごとに「インフルエンサー」を選抜。IT部門(推進部門)が選抜したインフルエンサーに対して勉強会などを行い、現場主導でアプリ・フローを開発



部内で実績をもとに広めていただく

全社展開型

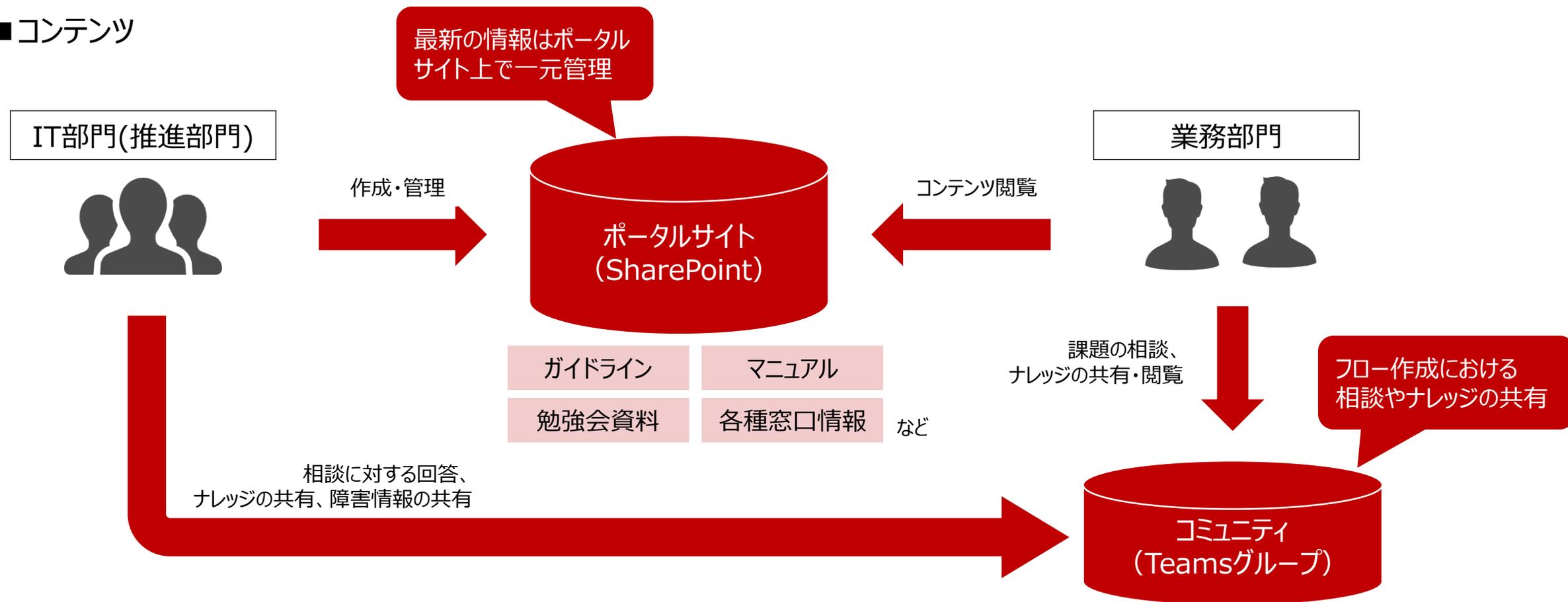
広く全社的に展開し、各業務担当がそれぞれ現場主導でアプリ・フローを開発。IT部門(推進部門)は定期的な勉強会などを開き、業務担当を支援



推進事例 (A社)

ガイドラインなどの公開資料は、SharePointサイトで作成したポータルサイト上に掲載し、一元管理しています。また、フロー作成における相談やナレッジの共有を目的に、Teamsグループを利用しコミュニティを運営されています。

■コンテンツ



tdi 情報技術開発株式会社

お問い合わせ窓口：営業本部営業企画グループ

お問い合わせはこちら

※Power Platform、Power Automate、Power Automate for desktop、Power Apps、Power BI、Power Pages、Copilot Studio、Microsoft 365、Excel、Teams、SharePoint、Outlook、Forms、およびロゴは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。